

## 24 なぜケシ(アヘンの原料)を増産?

昭和17年(1942)

ぼっぱつご  
ますい ちんつう もち  
日中戦争勃発後、戦地で麻酔・鎮痛に用いられる  
せいぞう  
医薬品を製造するための原料であるアヘンが輸入  
困難となって不足し、それを補うため国内の増産を計  
画、アヘンの原料である罂粟(ケシ)栽培が進められ  
ました。

群馬県行政文書「罂粟(ケシ)栽培関係綴」  
(AO181AOS 769)

利農第一一五四号

昭和十六年九月十一日

利根郡農会

群馬県農政課御中

罂粟栽培計画報告ノ件

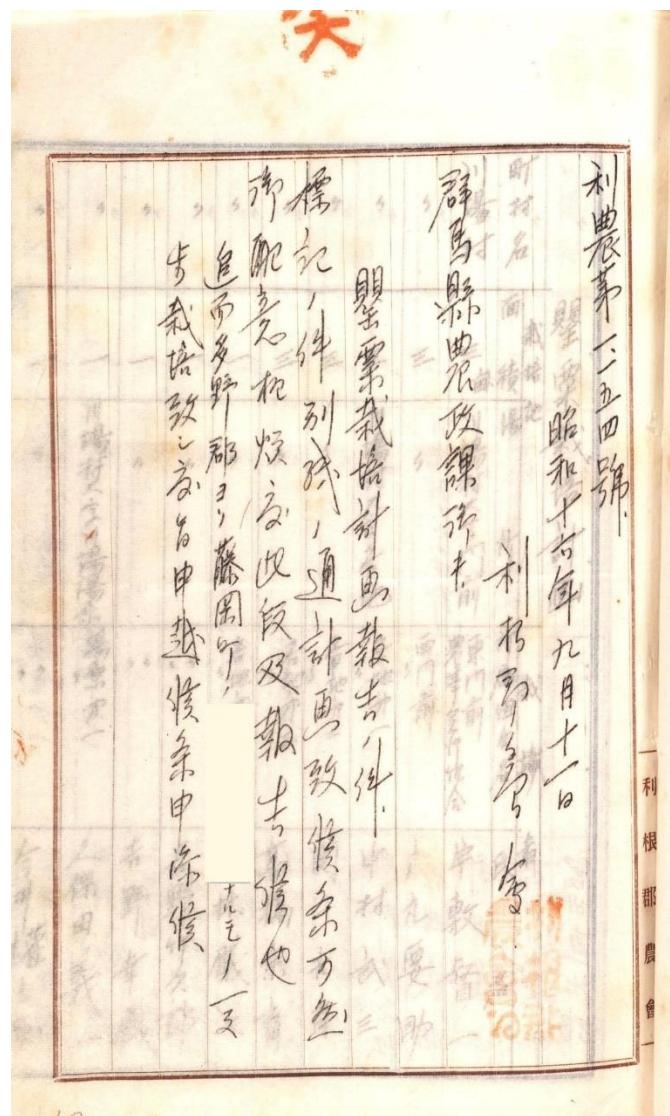
標記ノ件別紙ノ通計画致候条可然

御配意相煩度此段及報告候也

追而多野郡ヨリ藤岡町ノ

歩栽培致シ度旨申越候条申添候

ナルモノ一反



説明資料（昭和十六年五月 厚生省衛生局）

# 第一 製薬原料トシテノ阿片ノ重要性ニ就テ

阿片ハ内地ニ於テハ専ラ重要ナル医薬品ノ製造原料トシテ使用セラレ、其ノ製品ノ主ナル物ハ燐酸コデイン塩酸モルヒネ・塩酸デアセチルモルヒネ・阿片アルカリド塩酸塩・塩酸エチルモルヒネ等ニシテ何レモ主トシテ鎮咳・鎮痛・鎮疼・鎮静等ノ目的ニ使用シテ効ヲ奏シ医療上欠クベカラザルモノナルガ就中燐酸コデインハ習慣性ヲ伴ハズ應用範囲頗ル広シ

第二 事変勃発以来内地ニ於ケル阿片ノ需要狀況

事変勃発以来時局ノ進展ニ伴ヒ阿片ヲ原料トスル医薬品ハ軍民需ヲ通ジ著シク増加ヲ來タシタルヲ以テ原料阿片ノ需要モ逐年激増ヲ示シツツアリ

事変勃発當時既ニ内地産阿片ノミニテハ内地ニ於ケル製藥  
原料トシテ不足ノ状態ニアリ、不足分ニ付テハ毎年外國  
産（トルコ）阿片及台灣總督府保管ノ粗製モルヒネノ輸入  
ニ依リ之ガ補充ヲ行ヒツアリタルガ、外國為替管理ノ  
実施ニ依リ外國産阿片ノ輸入ハ頗ル困難トナリ内地産  
阿片ハ諸物價高ニ因ル對抗作物ノ但上リ・賠償金率ノ  
低廉・労力ノ不足・肥料配給ノ不円滑等局下種々ノ  
影響ヲ蒙リ罂粟栽培反別ノ遞減ハ逐年其ノ生産量ヲ低  
下シツ、アリ其ノ對策トシテ賠償金ノ引上ゲ病虫害ノ  
豫防等ニ力ヲ致シタルモ之ヲ阻止スルニ至ラズ加之最  
近ニ至リテハ輸移入ニヨル原料ノ補充ハ時局ノ推移ニ  
伴ヒ一層困難ナル事情ニアリ

因テ前述種々ノ事情ニ鑑ミ本年度ニ於テハ阿片増産  
ノ根本策ヲ樹立シ内地ニ於テ必要ナル阿片生産ノ確  
保ヲ企圖シ内地ニ於ケル阿片ヲ原料トスル麻薬需要量  
ヲ自給スルニ必要ナル製藥用原料阿片ヲ生産確保  
スルタメノ必要反別ヲ算定シ之ガ實現ヲ期スルタ  
メ既ニ本年四月賠償金ヲ更ニ引上タル外優良品種  
ノ普及・栽培技術ノ指導・向上・肥料ノ配給等ニ  
付テモ之ガ實施ニ積極的施策ヲ講ジ漸次栽培反別  
ヲ拡張シ以テ目標反別ニ到達セシメントスルモノ  
ナリ

第四本年度栽培反別

事変勃発當時既ニ内地産阿片ノミニテハ内地ニ於ケル製藥  
原料トシテ不足ノ状態ニアリ、不足分ニ付テハ毎年外國  
産（トルコ）阿片及台灣總督府保管ノ粗製モルヒネノ輸入  
ニ依リ之ガ補充ヲ行ヒツアリタルガ、外國為替管理ノ  
実施ニ依リ外國産阿片ノ輸入ハ頗ル困難トナリ内地産  
阿片ハ諸物價高ニ因ル對抗作物ノ但上リ・賠償金率ノ  
低廉・労力ノ不足・肥料配給ノ不円滑等局下種々ノ  
影響ヲ蒙リ罂粟栽培反別ノ递減ハ逐年其ノ生産量ヲ低  
下シツアリ其ノ對策トシテ賠償金ノ引上ゲ病虫害ノ  
豫防等ニ力ヲ致シタルモ之ヲ阻止スルニ至ラズ加之最  
近ニ至リテハ輸移入ニヨル原料ノ補充ハ時局ノ推移ニ  
伴ヒ一層困難ナル事情ニアリ

因テ前述種々ノ事情ニ鑑ミ本年度ニ於テハ阿片増産  
ノ根本策ヲ樹立シ内地ニ於ケル阿片ヲ原料トスル麻薬需要量  
ヲ自給スルニ必要ナル製藥用原料阿片ヲ生産確保  
スルタメノ必要反別ヲ算定シ之ガ實現ヲ期スルタ  
メ既ニ本年四月賠償金ヲ更ニ引上タル外優良品種  
ノ普及・栽培技術ノ指導・向上・肥料ノ配給等ニ  
付テモ之ガ實施ニ積極的施策ヲ講ジ漸次栽培反別  
ヲ拡張シ以テ目標反別ニ到達セシメントスルモノ  
ナリ

第四 今年度栽培反別